



2012年 新春号

## ごあいさつ

新春の候 平素は皆さまの温かいご支援を賜り、心より感謝・御礼申し上げます。  
昨年は、未曾有の東日本大震災、相次いで上陸した台風で大きな被害が発生し、改めて市民の皆さまの命を守る“安心・安全のまちひらかた”の構築の取り組みが大切であると痛感いたしました。

また、急速な少子高齢化とともに人口減少時代に突入し、さらなる医療・福祉施策の充実の必要性が高まっております。

本年も、おひとりおひとりの声を大切に、どこまでも生活者の視点で、皆さま方が安心して元気に暮らせるよう全力で頑張っておりますので、この一年皆さまのご指導・ご支援を何卒宜しくお願い致します。

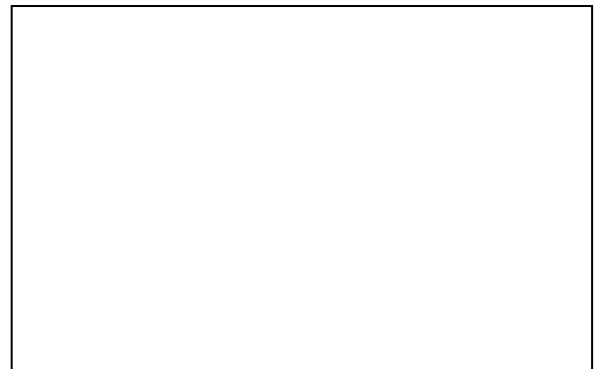
結びに皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## 予算要望書を竹内市長に提出！！

公明党枚方市会議員団として、平成 24 年度予算要望書を竹内市長に提出しました。

平成 24 年度においては、これまでにない行財政改革に向けた取り組みを断行し、より効率的で効果的な事業手法を構築するとともに、生活者の視点での施策の構築をと主張

具体的には、①行財政改革の積極的推進②少子化対策③福祉政策の充実④安心・安全の街づくり⑤活力のある街づくり⑥やさしい環境づくり⑦教育・文化の活性化など重要7項目44施策について要望しました。



## 女性街頭を各地域で行いました！

枚方市駅や樟葉駅など各地域で、防災の取り組みや子育て支援、行財政改革の取り組みなど、皆さまのお役に立つ施策の報告をさせて頂きました。本年も随所で街頭演説実施してまいります！



# 議会報告

平成 23 年 12 月度定例議会にて一般質問をさせていただきました。



総合計画について	
質問	答弁
現在、本市が定める第4次総合計画は、平成27年度までの計画、これからのまちづくりの方向性を示す最上位に位置する総合計画をどのように策定していくのか	現在は、第4次総合計画、第2期基本計画に基づき市政を運営している。 今後も市政の基本となる最上位計画として策定する必要がある。まちの将来像を実現する主体は市民であるその観点を持って検討していく。
心の健康に関する施策について	
質問	答弁
自殺予防の電話相談窓口“ひらかたいのちのホットライン”の拡充、認知行動療法の取り組み、こころの相談センター設置の要望、本市は、今後医療や健康にかかわる社会資源がますます充実してくる。 枚方市を“市民の命と健康を守るNo.1のまち”に！	ひらかたいのちのホットラインは、週1回から週3回夜間までに拡充、認知行動療法は市として市民への周知、情報提供に努めていく。〈市長〉子どもから高齢者まで、すべての市民に対する総合的な健康医療施策が充実した街として「まちのブランド」の発信に取り組んでいく。
脳脊髄液減少症について	
質問	答弁
脳脊髄液減少症とは、脳と脊髄の周りを満たしている脳脊髄液が、交通事故やスポーツ、転倒などによる衝撃によって体内に漏れ出すもので、思考力の低下、倦怠感などの症状を引き起こす。市として、正しい情報や、相談・検査・治療の行える医療機関の周知・広報の取り組みを要望	市において、相談や検査を希望されている市民に必要な情報を提供できるよう、保健センターのホームページに掲載するとともに、広報等で脳脊髄液減少症に関する正しい理解を広める等、市民への周知に努める。
障がい者施策について	
質問	答弁
聴覚に障がいのある方の、病気や事故など緊急時の対応策として、24時間365日対応可能な緊急時の手話通訳者派遣、及び緊急時に必要な伝達手段の取り組みについて また、本市にある医療機関へ、医療通訳者の配置の協力を要望	24時間365日対応可能な緊急時の手話通訳者派遣について、救急車を利用された場合に搬送先の病院まで手話通訳を派遣できる「緊急時手話通訳者派遣制度」をこの4月にスタート。また緊急時に必要な情報を伝達する手段として活用できる「聴覚障がい者医療コミュニケーションサポート手帳」を昨年8月に発行・配布

がん教育について	
質問	答弁
「公益法人日本対がん協会」が制作した教育基金DVD「がんちゃんの冒険」を中学生のがん教育に活用してはと要望したがその後の取り組みについて、また保護者・教職員を対象にしたがん予防セミナーの実施の要望	DVD「がんちゃんの冒険」は市立中学校全 19 校に配布。担当教職員が活用し、研修を深めた後、わかりやすい授業に努めている。 がん予防については、まず教職員を対象に講師を招いて研修会を実施することなどを検討していく。
高齢者の包括的なケアについて	
質問	答弁
一人暮らしの高齢者が急増している中で、一人暮らしに強い不安感を抱いていらっしゃる方が多い、そういった方々の話し相手になり不安感を解消し、孤独死を防ぐなど傾聴ボランティアの活動が今注目されている、本市での取り組みを要望	介護認定を受けていない場合にはニーズの把握も困難であり、充分でないことから高齢者サポートセンターと連携をとりながら、積極的な活用と周知に努める。また傾聴ボランティアの養成については社会福祉協議会とも連携し、研修の実施などについて検討していく。

その他、機構改革について・行政改革および市の戦略について・公用車の安全運転管理についてなど 9 項目にわたって質問しました。

## 女性専用車両の拡充を！！

大阪府守口、門真、寝屋川、枚方、交野の5市の女性議員で、京阪電気鉄道株式会社に対し、女性専用車両の拡充を求める要望を行いました。

現在、平日朝のラッシュ時に特急電車（淀屋橋―出町柳間）の一両を女性専用車両に設定し、駅もホームや柱などに運転時間帯を表示していますが、「京阪沿線の5市では、多くの女性から女性専用車両を拡充してほしいとの声が寄せられている」と強調し、①特急電車の女性専用車両の終日実施②急行、準急への導入などを強く要請しました。

平成 23 年 11 月 11 日



## 下関市立中央図書館を視察しました！

公設民営による指定管理者が運営し、会館日数は 340 日、格段のサービスが提供でき色々なノウハウで図書館の利用ができ、市民の読書意欲を大きく喚起させる事ができるそうです。



写真は「読書通帳」機 平成 23 年 11 月 21 日

**ボランティアグループ「さわやかクラブ」の皆さんが、特別養護老人ホーム香里いちょう園にタオルの贈呈をされました。**





# ひらかた情報スポット

## ☆1月から市民病院でセカンドオピニオン外来を実施

～治療法などの選択の参考に～

市民病院では、他の医療機関で治療を受けている患者に対し、診療内容や治療方針などについて、市民病院の医師が専門家としての意見や判断を提供する、セカンドオピニオン外来が1月から実施されます。

対象は主になんがん疾患の患者本人及び家族。平日午後の完全予約制で、料金は30分まで1万5000円、60分まで2万1000円（保険適用外）

▼申込 治療中の医療機関を通じての申し込みが必要です。

詳細は市ホームページまたは

医療相談・連携室へTEL（847）2821



## ☆ご存じですか 脳脊髄液減少症って？！

脳脊髄液減少症については、あまり知られていませんが、脳と脊髄の周りを満たしている脳脊髄液が、交通事故やスポーツ、転倒などによる衝撃によって体内に漏れ出すもので、思考力の低下、倦怠感、めまいなどの症状を引き起こします。全国においては数十万人の方が脳脊髄液減少症の患者だとみられています。学校現場においても、スポーツによるけがなどで発症し、子どもさん自身は勿論のこと家族や教師も気づいていない場合があるようです。12月議会で、正しい情報を伝えることや、相談や検査・治療の行える医療機関を周知広報することの必要性を訴え、市として、相談や検査を希望されている市民に必要な情報を提供できるよう、随時最新情報を、保健センターのホームページに掲載するとともに、広報等で脳脊髄液減少症に関する正しい理解を広める等、市民の周知に努めていくとの答弁がありました。



発行は枚方市議会議員 岡林かおるです。  
市議会:072-841-1221(市役所4階公明党控室)  
連絡先:072-841-6371 FAX:072-841-6370  
e-mail : kaoru\_himawari2010@yahoo.co.jp  
URL : <http://www.sunflower-kaoru.com>